

講演会と交流会は修了しましたので概要を報告します

## 「成人スチル病の講演会と交流会」

日 時 平成 31 年 4 月 20 日（土） 13：30～16：15  
場 所 サンシップとやま 501 号室  
参加者 本人及び家族等 16 人  
講 師 富山県立中央病院内科和漢・リウマチ科  
部 長 藤永 洋 先生



成人スチル病の患者さんを対象として専門医の講演と、グループに分かれて患者さん同士の意見交換を行いました。

藤永先生の講演は、成人スチル病の病態、治療、特定疾患医療費助成を中心とした内容で、最後に成人スチル病について

- ・三主徴は、発熱、発疹、関節痛
- ・肝機能異常、薬剤アレルギーを伴いやすい
- ・重篤な合併症として、マクロファージ活性化症候群、播腫性血管内凝固症候群（DIC）
- ・トシリズマブ（IL-6 阻害薬）が難治性に対して有効

とまとめられました。

### <交流会と質疑応答>

交流会では、発病当時のことや現在の治療状況、困っていることなど個人の体験が話されました。その中から、藤永先生に「アクテムラの使用について」「高血圧や筋力低下について」「薬を減らすにはどうすればいいのか」「この病気は治るのか」等様々な質問が出され、それについて先生からわかりやすく丁寧な回答をいただきました。

参加者のアンケート結果では、全員、「交流会は良かった」「講演もわかりやすく理解できた」と回答し、「自分の病気のことが詳しくわかって良かったです。長く付き合っていくために前向きでいようと思います」という意見が記載されていました。